

人権学習シリーズ

「日本女性会議に参加して」

飯山市人権政策課長 小澤 俊之

「日本女性会議2008とやま」が10月17・18日の両日、富山市で開催され、飯山市から13名(うち男性2名)が参加してきました。日本女性会議は、1984年の第1回名古屋大会を皮切りに男女共同参画にかかわる国内最大級のイベントとして、全国の主要都市で毎年開催されており、今年で25回という節目の開催とのこと。

基調講演の中で、男女の意識のズレに関するエピソードが紹介されました。妻が風邪で寝込んでしまったときのこと。夕食時分の頃に夫が妻に「大丈夫かい。僕のことなら心配しないでいいよ、どこかで夕飯済ませてくるから。」と言ったこと。何だかおかしくないだろうか。反対の立場なら妻は夫の食事を作り、夫の看病をするのに、といった笑い話のような内容でしたが、こういった例は、日常生活の中に多々あるように思います。女性だから妻だから夫に尽くして当たり前前となる。しかし、男女が逆の立場になると必ずしもそうならないのが現実です。

基調講演の中で、男女の意識のズレに関するエピソードが紹介されました。妻が風邪で寝込んでしまったときのこと。夕食時分の頃に夫が妻に「大丈夫かい。僕のことなら心配しないでいいよ、どこかで夕飯済ませてくるから。」と言ったこと。何だかおかしくないだろうか。反対の立場なら妻は夫の食事を作り、夫の看病をするのに、といった笑い話のような内容でしたが、こういった例は、日常生活の中に多々あるように思います。女性だから妻だから夫に尽くして当たり前前となる。しかし、男女が逆の立場になると必ずしもそうならないのが現実です。

「女だから」「嫁だから」「子どもだから」「年だから」といったような言い方をついしがちですが、誰もが1個人の間人として尊重されなければなりません。分かっているつもりでも、どこかで自分を優位に置いて人を見たりすることが常であります。

今回の女性会議をきっかけに、常日頃の言動を改めて顧みると、何事も偏見なく正視眼で見られるよう、まず自分から変わっていきたいと思います。女性の細やかさそしてパワーを改めて感じた大会でした。21世紀は、まさに女性の力が必要とされ、活躍する時代と確信しております。

飯山市ふるさと館

季節の風物詩「菊」が届きました

ふるさと館近くにお住まいの、鷲森則子さんから、今年も菊が届きました。毎年みごとな鉢植えを並べて頂いており、季節の風物詩として、ふるさと館の入口を華やかに彩っています。



「公民館活動について」

外様地区専門部員 市村 吉輝

公民館専門部員となりまして、半年が過ぎました。大分、活動にも慣れてきました。そこで公民館活動について日頃感じている事柄を述べておきたいと思っています。

マレットゴルフ大会から始まり、かえるの学校、球技大会、広井川まつり、ダンボールコンポスト、敬老会、駅伝大会、外様の歴史、文化祭と活動して参りました。特に印象に残っているのは、「かえるの学校」、「広

井川まつり」です。これについては子供と参加できる行事なので、まだ3歳と小さいですが、いずれば自分の子供と一緒に参加してみたいと思いました。「ダンボールコンポスト」については

家族で参加し、ガーデニングの趣味のある私と家内にとつては、肥料となるものなのでとても興味深かったのを覚えています。(今も自宅で実践中です)。その他、ちよつとキツかった思い出として「駅伝大会」、「文化祭」です。「駅

伝大会」は何かとサポートが発生し、平日仕事を抱えている者にとつては、時間を作るのが大変でした。「文化祭」は現在準備中ですが、やることが多すぎて休日が始ど潰れてしまうのが難点です。その他の行事については、「球技大会」は人集めに苦労するため、もつと大会方針を考え直しても良いのでは?と感じました。もつと外様住民が率先して参加できるようにものをサポートしていったらと思います。また、できればイベント(行事)の数についても調整できれば...と思っております。(多すぎると感じているのは私だけでしょうか?)

最後に、公民館活動は外様住民とコミュニケーションが持てる良い場であると思います。もつとと考えていく部分はあるとは思いますが、今後も続けて、より良い活動にしていきたくと考えています。

以上、私が専門部員となつて感じた事柄ですが、他地域の専門部員の皆さんは如何ですか?

マイ★オピニオン 意見・私見

「専門部員として」

瑞穂地区専門部員 高澤 勇一



専門部員として就任してもうすぐ一年経とうとしています。始めは大変な役割回つて来た戸惑いもありましたが、地域の皆さんのために何が出来るのかを考えるようになって来ました。

今年の運動会では何か新しい種目をやってみようという提案をしたところ、部員の皆さん、地域の役員の皆さんも真剣に討議していただき、みんなで楽しめる競技が作られたのではないかと思います。

新しい種目は、やってみたことではいろいろ改善点も見つかり、来年は更に楽しいものになりたいと思っています。

地区の文化祭においては、パソコンを使った催しを提案してみたところ、専門部の企画として、取り入れていただき、当日は大勢の子

供たちにも喜んでもらえたと思います。また、今年初めて作品を出展してみました。妻や子供たちも作品を出展し、来年は自分の親も出展すると言いつつ、家族ぐるみで参加しようとしています。

この役員の話をいただいたときは少し重荷に感じていましたが、こうして振り返ってみると、結構楽しんでやっていると感思しています。

ただ、平日のイベントは仕事の都合で遅れたり、参加できなかつたり、部員の皆様に協力できずに申し訳なく思っています。もうすぐ任期も折り返し点になりますが、専門部員としてできることを考えて、精一杯に取り組み、大いに楽しみながら、何かもう一つ、二つ新しいものを創って行きたいと思っております。地域の皆様にもご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

芸術・文化・スポーツの秋を迎え、市内各地域の公民館では、文化祭などたくさんのイベントが開催され、多くの皆さんが秋のひとときを満喫しました。

秋



【地区館情報】

秋津

◇秋津地区文化祭開催



10月26日(日)に秋津地区文化祭が開催されました。小学校体育館で行われた「ふれあい音楽祭」では、地元サークルの踊りや大正琴、ピアノ、みゆき野吹奏楽団による演奏、また秋津小児童による「とんぼ太鼓」が披露され、大勢のお客さんに楽しんでいただきました。

また、活性化センター前で行われた「うどん」の出店やミニゲーム大会も大盛況で特に子供たちに大人気の綿あめコーナーには沢山の行列が続いていました。

木島

◇第45回木島地区文化祭



10月31日(金)～11月2日(日)に、木島地区活性化センターにて開催しました。美術作品展において、公民館サークル、地域の皆さんの力作披露及び、木島保育園・木島小学校の園児、児童の作品展がありました。

◇第41回地区二周駅伝大会

地区文化祭に併せ、11月2日(日)参加16チームにより、熱戦が繰り広げられました。



結果 優勝 野坂田ファイターズ 準優勝 タノ原A(其綿) 第3位 下木島マックス 各集落の選手、役員の皆様ご苦労様でした。

瑞穂

◇瑞穂地区文化祭

10月26日(日)に瑞穂地区活性化センターを会場に開催しました。



地区駅伝大会、児童生徒及び趣味の作品展、婦人会やJAの売店、針田柿の市、日赤奉仕団チャリティーバザー、防犯プラカードコンクールなどの内容で賑わいました。駅伝大会の表彰式後には人も最高潮となり、売店や振る舞い餅に長蛇の列ができました。天候は快晴とはなりませんでした。雨にも遭わず、無事終えることができました。